

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。  
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

\*\*\*\*\*

- ◆「平和首長会議第1回ラテンアメリカ地域会議」をボゴタ市（コロンビア）で開催
- ◆ 国際平和デー100日前カウントダウンに向けたメッセージ
- ◆平和首長会議副会長都市であるアクロン市（アメリカ）のドナルド・プラスケリック氏が市長を退任
- ◆国連の次期開発アジェンダに対する意見書に賛同を表明
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース（ヒロシマ平和メディアセンター提供記事）
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆平和首長会議情報システムのご案内
- ◆被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内
- ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- ◆5月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数：160か国・地域 6,706自治体

\*\*\*\*\*

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ホームページ：<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>「いいね！」をお待ちしています。

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

=====

◆「平和首長会議第1回ラテンアメリカ地域会議」をボゴタ市（コロンビア）で開催  
[6月4日、ボゴタ市（コロンビア）]

=====

6月4日、ラテンアメリカにおける初めての地域会議がコロンビアの首都ボゴタで開催され、平和首長会議ラテンアメリカ地域支部が正式に発足することとなりました。会議には、ボゴタ市（コロンビア）、ブエノスアイレス市（アルゼンチン）、カルタゴ市（コスタリカ）、リマ市（ペルー）、メキシコシティ（メキシコ）、テグシガルパ市（ホンジュラス）からの代表者が出席するとともに、国連人間居住計画（ハビタット）ナイロビ本部からも「安全な都市」プログラム担当者が参加しました。

会議の開催にあたり、松井会長がビデオメッセージを寄せ、第1回地域会議を主催したボゴタ市への感謝が述べられました。続いて、グローバルネットワークの地域統合に関するラテンアメリカ地域で実施した調査結果のプレゼンテーションが行われ、その後、同地域における平和首長会議の活動の強化について活発な議論が交わされました。

会議では、以下の事項について合意しました。

- 平和首長会議ラテンアメリカ地域支部を設立する
- メキシコシティ、サントス市（ブラジル）に加え、当地域におけるリーダー都市としてボゴタ市及びカルタゴ市のリーダー都市就任を歓迎する
- 次の第2回地域会議は2016年前半にメキシコシティで開催する

- 平和首長会議ラテンアメリカ地域支部事務局の設置は交代制とし、次回地域会議開催地に置くこととする

- 従って、同地域支部事務局は、次回地域会議開催までの期間はメキシコシティに設置する

また、会議において「ボゴタ平和宣言」が採択されました。同宣言は、コロンビアにおける武力闘争終結のための和平交渉への支援を表明するとともに、核兵器の問題は気候変動とともに人類が直面している最も重要な課題であるとし、各国政府に対し、軍事費を自治体及びその市民の緊急的なニーズを満たす経費に転換することを求めています。さらに、ラテンアメリカの都市は失業・貧困・暴力・移民問題・武器の拡散といった共通の問題を抱えており、国家・地方自治体はそれらの問題に包括的に取り組むべきであると締めくくられています。

▼ボゴタ平和宣言全文（日本語訳）

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/2015/Bogota/20150604\\_Bogota\\_Peace\\_declarationJ.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/2015/Bogota/20150604_Bogota_Peace_declarationJ.pdf)

=====

### 国際平和デー100 日前カウントダウンに向けたメッセージ

=====

1981年、国連総会は、全会一致で国際平和デーを設ける決議を採択しました。その中には「国連及びその加盟国並びに全ての人々の力を結集して平和の理念の普及を図り、あらゆる手段を用いて平和実現への決意の証を示すための特定の時間を設ける」ことが盛り込まれています。2001年の国連総会では、毎年9月21日を国際平和デーとして非暴力と停戦の日とすることが採択され、国連は、この日一日敵対行為をやめること、また、全人類の平和や福祉に関する問題についての啓発事業などの開催を世界の人々に呼び掛けています。

これまで世界各地で多くの国際平和デーを記念した行事が行われてきました。平和首長会議も、その行動計画において全ての加盟都市に記念行事開催を呼び掛けていくことを盛り込んでおり、国際平和デーを支持しています。

国際平和デー100 日前カウントダウンに際し、松井会長からのメッセージをお届けします。平和首長会議加盟各自治体におかれましては、こうした趣旨を御理解いただき、2015年の国際平和デー記念行事を開催していただきますようお願い申し上げます。

▼国際平和デー（2015年9月21日）100 日前カウントダウンに向けたメッセージ全文

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2015/Sep21\\_peaceday/150613\\_IDP100Day\\_message\\_J.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2015/Sep21_peaceday/150613_IDP100Day_message_J.pdf)

\* 貴自治体で開催する国際平和デー記念行事の内容について、次のメールアドレスまでご一報ください。平和首長会議ウェブサイト等でご紹介いたします。

▼Eメール: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

=====

### ◆平和首長会議副会長都市であるアクロン市（アメリカ）のドナルド・プラスケリック氏が市長を退任

=====

アメリカ合衆国オハイオ州アクロン市の市長を28年間にわたって務め、平和首長会議の副会長でもあったドナルド・プラスケリック氏が5月31日、市長を退任されました。アクロン市は2004年に平和首長会議に加盟。2005年には副会長都市、2014年にはリーダー都市になりました。近年では、米国の市長で構成される超党派の団体である全米市長会議の年次総会において、プラスケリック市長が中心となって各州の市長に核軍縮に関する決議への賛同を呼びかけ、その採択に導いてきました。平和首長会議はプラスケリック氏の長年にわたる貢献に対し感謝の意を表します。

=====

## ◆国連の次期開発アジェンダに対する意見書に賛同を表明

=====

2000年9月の国連ミレニアムサミットにおいて「ミレニアム宣言」が採択され、この宣言をもとに、2015年までに達成すべき「ミレニアム開発目標」が策定されました。この目標の達成期限が迫る中、2015年以降の新たな開発目標「ポスト2015年開発アジェンダ」の策定に向けた国際社会での議論が始まっています。本年7月にはエチオピアのアディスアベバにおいて「第3回開発資金国際会議」が開催され、ポスト2015年開発アジェンダ実施のための資金および実施手段について議論が行われる予定です。

この会議の開催にあたり、次世代に健全な地球環境と公正な社会を継承するための政策提言を行うNGO「世界未来協議会」及び平和NGO「国際平和ビューロー」は、開発と軍縮が連動して進むよう、国連加盟国の軍事費を削減し、「持続可能な開発目標」の取組に再配分することの重要性について提言をまとめた意見書を作成し、平和団体等に対し、この意見書への支持を要請しました。

各国による軍事費削減は、平和首長会議が目指す軍縮・核兵器削減に資することから、平和首長会議としてこの意見書に賛同を表明しました。

▼意見書「Peaceful and Just Societies: A Key Factor in Financing for Sustainable Development」(英語)  
[http://www.worldfuturecouncil.org/fileadmin/user\\_upload/Disarmament/2015.05\\_Peaceful\\_and\\_Just\\_Societies\\_Key\\_Factor\\_in\\_FFD.pdf](http://www.worldfuturecouncil.org/fileadmin/user_upload/Disarmament/2015.05_Peaceful_and_Just_Societies_Key_Factor_in_FFD.pdf)

▼関連情報

世界未来協議会 (World Future Council) ウェブサイト (英語)

<http://www.worldfuturecouncil.org/>

▼関連情報

国際平和ビューロー (International Peace Bureau) ウェブサイト (英語)

<http://www.ipb.org/web/>

=====

## ◆ヒロシマ発平和関連ニュース (連載第8回)

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

5月22日まで米国ニューヨークの国連本部で開かれていた、5年に1度の核拡散防止条約(NPT)再検討会議は、残念な結果に終わり、被爆者に失望や怒りが広がりました。しかし核兵器も戦争もない世界を目指す被爆地広島はあきらめていません。被爆者が高齢化する中、若い世代への継承を進めながら、粘り強く、原爆が投下されたらどうなるか世界に伝えていく必要があります。米国ワシントンDCで6月中旬から8月16日まで開かれる「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」も、その一環。20年ぶりに核超大国の首都での開催となります。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○被爆者ら「最悪の結果」 NPT会議決裂 渦巻く失望と怒り

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=44770>

○NPT再検討会議を終えて<上>決裂の背景 保有国が抵抗 限界露呈

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=45076>

○NPT再検討会議を終えて<下>核廃絶の行方 「傘」に安住日本へ疑念

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=45135>

○米首都で20年ぶり原爆展 広島・長崎市 6月から 被爆者も派遣

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=45015>

○2世らの加入 規約に 広島県被団協 高齢化に危機感

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=45048>

○記憶遺産 広島市も申請 栗原貞子ら直筆原爆文学資料 市民団体と共同 「世界へ発信」

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=45192>

【ホロコーストを学ぶスタディーツアーの報告会を開催しました】

○ニュース○平和構築 若者は行動を 欧州スタディーツアー報告会

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=45131>

○詳報○欧州スタディーツアー報告会「ヒロシマとホロコースト」(詳報) 悲劇 繰り返さぬ決意

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=45139>

(ヒロシマ平和メディアセンター提供)

---

## ◆加盟都市の活動紹介

---

-----  
\*岡山市 (岡山県)

「第 38 回岡山戦災の記録と写真展 ―つないでいく記録と記憶―」を開催中

-----  
1945 年 (昭和 20 年) 6 月 29 日に岡山市が受けた空襲では、当時の市街地の 63%が焼失し、1700 人を  
超える死者が出ました。岡山市では、岡山空襲についての展示会を 6 月 12 日 (金) から 7 月 5 日 (日)  
まで岡山シティミュージアムにおいて開催しています。岡山空襲当時の様子やその困難に市民の方々がど  
のように立ち向かい、復興を遂げていったのか、その貴重な記録を当時の記録とともにご覧いただけます。

▼展示概要 (岡山シティミュージアムウェブサイト)

[http://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum/tenji/tenji\\_201506-07\\_sensai.html](http://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum/tenji/tenji_201506-07_sensai.html)

-----  
\*ミュルハイム・アン・デア・ルール市 (ドイツ)

被爆 70 周年記念行事「ツリー・フォー・ピース」の開催

-----  
5 月 8 日、被爆 70 周年を記念した説明版の設置とイチョウの植樹行事「ツリー・フォー・ピース」が開  
催されました。この行事は、平和首長会議による被爆 70 周年記念行事実施の呼び掛けに応じて開催され  
たものです。広島原爆を生き延びた平和のシンボルとしてイチョウの樹が選ばれました。同市市長が説  
明版の除幕とイチョウの植樹を行った後、平和首長会議の取組である「核兵器禁止条約」の実現を求める  
署名活動への賛同を宣言しました。

▼ミュルハイム・アン・デア・ルール市ウェブサイト (ドイツ語)

[https://www.muelheim-ruhr.de/cms/widmung\\_des\\_hiroshima-baumes.html](https://www.muelheim-ruhr.de/cms/widmung_des_hiroshima-baumes.html)

-----  
\*チャムゴルダーン市 (イラン)

化学兵器被害者の日記念行事を開催

-----  
5 月 9 日、チャムゴルダーン市長が同市市議会議員と共にイランの化学兵器被害者に面会し、記念行事  
を行いました。また、市長を始め、市長補佐官、市職員、市議会議員が犠牲者の墓地で献花を行いました。

-----  
\*サラエボ市 (ボスニア・ヘルツェゴビナ)

対ファシズム戦勝 70 年及び「ヨーロッパの日」記念行事を開催

-----  
5月9日、サラエボ市は、対ファシズム戦勝70年とヨーロッパEUの創設記念日「ヨーロッパ・デー」を記念し、「永遠の灯」への献花行事及びサラエボ交響楽団による記念コンサートを開催しました。この日、サラエボ市は広島・長崎の原爆犠牲者にも思いを寄せ、哀悼の意を捧げました。

-----  
\*バルセロナ市（スペイン）

バルセロナ市議会、核兵器廃絶宣言を採択

-----  
3月23日、平和首長会議加盟都市であるバルセロナ市の市議会本会議において、核兵器廃絶を求める宣言が採択されました。この宣言は、4月にNPT再検討会議が開催されるにあたり、バルセロナに拠点を置き、核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）のメンバーである平和NGO「Fundí Pau」が同議会に提案したもので、全会一致で採択されました。

▼バルセロナ市議会による宣言文（日本語訳 原文はカタルーニャ語）

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/2015/Barcelona/Declaration\\_J.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/2015/Barcelona/Declaration_J.pdf)

▼加盟都市の活動（平和首長会議ウェブサイト）

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/index.html>

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。

貴自治体における平和に関する様々な事業の情報をぜひお知らせください。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Eメール: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

=====

#### ◆平和首長会議情報システムのご案内

=====

平和首長会議では、加盟都市間の情報共有促進を目的として、「平和首長会議情報システム」を構築し、本年7月から稼働を開始します。各自治体はこのシステムを利用することで、加盟都市の情報検索、自都市の情報更新等が可能となります。システムの利用方法等については別途メールでお知らせします。

=====

#### ◆被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内

=====

平和首長会議では、平成25年8月の第8回平和市長会議総会において策定された行動計画の具体的取組である被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業を昨年度から開始しました。

5月1日から31日までに、国内では、相模原市（神奈川県）及び池田町（長野県）にアオギリを、古賀市（福岡県）にクスノキを、羽島市（岐阜県）、扶桑町（愛知県）及び鹿児島市（鹿児島県）にアオギリとクスノキを配付しました。

被爆樹木の苗木又は「平和の灯」の受け入れを希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※ 被爆樹木の苗木の配付については、配付本数に限りがあるため、万一不足することになった場合は翌年度以降の送付となりますので、あらかじめご了承ください。

※ 両事業は、通年でを行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施し

ますので、来年度以降の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

▼FAX: 082-242-7452

=====  
**◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！**  
=====

平和首長会議では、加盟都市の 5000 突破を契機として、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んでいます。

現在までに新宿区（東京都）や堺市（大阪府）、ロンドン市（イギリス）、ボルゴグラード市（ロシア）、カブール市（アフガニスタン）など、290 を超える都市がポスター展を開催しています。

引き続き、ポスター展の開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズ A2 版、18 枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====  
**◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！**  
=====

2020 年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

その早期実現を目指し、2011 年 11 月の理事会及び 2012 年 1 月の国内加盟都市会議において、条約の交渉開始等を求める市民署名活動を加盟都市を挙げて展開することが決定されました。署名活動は第 8 回総会で決定した行動計画にも掲げられています。

皆様のご協力により、2015 年 6 月 1 日現在、2,065,209 筆の署名が集まっています。

今後とも、全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。

（署名はインターネットからも可能です。）

▼署名用紙（PDF）

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01\\_monthly\\_updating/11\\_petitionform\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly_updating/11_petitionform_jp.pdf)

▼オンライン署名

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1333414321137/index.html>

=====  
**◆5 月の平和首長会議会長訪問**  
=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、5 月に次のような海外からの来訪者の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

\*5 月 19 日（火） サリー・フェガン＝ワイレス 国連事務次長補兼国連訓練調査研究所（ユニタール）本部長

\*5 月 21 日（木） ムセ・ハイール ブルンジ共和国無任所大使

\*5 月 21 日（木） チャン・ドック・ビン 在大阪ベトナム社会主義共和国総領事

\*5 月 25 日（月） ウィタヤー・ブラナシリ タイ王国前保健省大臣一行

▼関連情報

広島市/日々の動静—2015 年 5 月

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1430454403541/index.html>

=====

◆**平和首長会議加盟都市数：160 か国・地域 6,706 自治体**

=====

皆様のご理解とご協力により、今月 31 自治体が新たに加盟し、平和首長会議の加盟都市数は 6 月 1 日現在で 6,706 自治体（160 か国・地域）となりました。

日本国内では、愛知県小牧市が加盟し、国内加盟都市数は 1,561 自治体（加盟率 89.7%）となりました。

海外については、テヘラン平和博物館の呼び掛けにより、イランの 21 自治体が新たに加盟し、同国の加盟都市数が 672 自治体となりました。この他、ドイツ、オランダ等から 9 都市が新たに加盟しました。引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様のご支援をよろしくお願いします。

▼6 月 1 日付新規加盟都市一覧

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2015/newmembers1506\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2015/newmembers1506_jp.pdf)

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

\*\*\* 本メールニュースに関するご意見、お問合せ、  
連絡先変更等は下記までご連絡ください\*\*\*

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5

（公財）広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)